

## 修士論文発表概要の書式

知能・機能創成工学専攻

研究室名

氏 名

### 1. はじめに

ここでは修士論文発表概要の書式を規定する。  
この文章は MS-Word を用いて、ここに示す  
フォーマットに準拠して作成されている。必要  
に応じて参考にされたい。

### 2. 発表概要の体裁

#### 2.1. 用紙

概要には A4 サイズの用紙を用いること。両  
面印刷にて 2 頁以上 4 頁以内に収めること。

#### 2.2. マージン

ページ番号も含めて、概要のすべての内容は、  
A4 サイズの紙面を用いて、左：2cm、右：2cm、  
上：2cm、下：2cm の余白とする。

#### 2.3. 修士論文タイトル・氏名等

発表概要のはじめに論文タイトルを記載しな  
ければならない。また、タイトルの上には左寄  
せで「平成 23 年度修士論文発表概要」、右寄せ  
で発表日を記載し、タイトルの下に右寄せで専  
攻名、研究室、氏名を明記すること。

#### 2.4. 本文

本文は原則として 2 段組とすること。句読  
点、)}」が行頭にすることがないようにするなど、  
禁則処理も行うこと。節、項、目は 2.1、2.1.1、  
(a)の形式で記載すること。

#### 2.5. ページ番号

頁番号は各頁の下部中央に記載すること。

### 3. フォント、文字数、行数

#### 3.1. フォント

タイトル：ゴシック・Arial 14pt センタリング  
所属・著者名：明朝・Times 10.5pt 右寄せ

本文：明朝・Times 10.5pt

見出し（節、項、目）：ゴシック・Arial 10.5pt

頁番号：Times 9pt センタリング

図表のキャプション：Times 10.5pt

#### 3.2. 本文中一行あたりの文字数、行送り

本文中の一段一行あたりの文字数は全角で 22  
文字程度とし、行間隔は 14pt 程度（1 ページあ  
たり 51 行程度）とする。